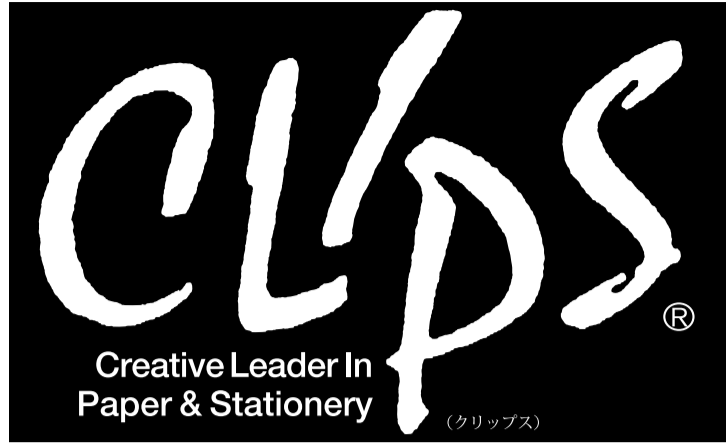


情報をクリップする



発行所 紙製品新聞社 〒542-0061大阪市中央区安堂寺町2-4-14 文健会館3階 TEL06(6765)1881 FAX06(6765)1880 購読料 1年間11,000円(税込) 振替口座 00990-3-16988番 e-mail:clips@ah.wakwak.com



紙関連含め160人出席

日本封筒フォーラム2023

SDGs講演会や懇親会

「日本封筒フォーラム2023」(旧名称「全国封筒年次大会」)が、7月7日午後3時30分から東京・大手町のKKRホテル東京で160人が出席して4年振



りに開催した。当日は、白石元宏実行委員の司会で進め、最初に榎橋泰仁実行委員長が次のように挨拶した。「本日は我々封筒会社をはじめ、封筒業界に関わりの深い製紙、紙代理店、機材関連と全日本紙製品工業組合・黒田章裕理事長、日本郵便切手葉書室・光山實担当部長にもご臨席いただいている。今回より大会名称を『日本封筒フォーラム』へ変更して開催する。第1回は30年前の1993年2月に170名の参加で開催している。今回は2019年7月以来4年振り、27回

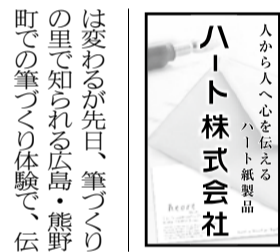
名称変更、4年振りに開催

目の開催で、出席者数160人の内訳は封筒会社72人、関連会社88人となる。さて、封筒は郵便サービスや書類の送付に欠かせない



一堂に会した封筒業界

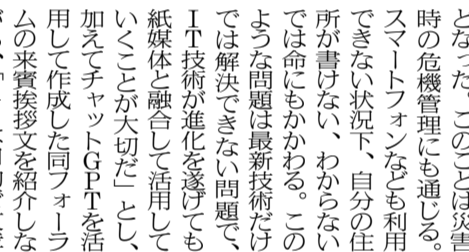
「のち輝く未来社会のデザイン」をテーマに、未来社会の実験場としてプロジェクトを進めている。話



ハイト株式会社

「のち輝く未来社会のデザイン」をテーマに、未来社会の実験場としてプロジェクトを進めている。話

の小ロット化、リモートワークなどの働き方の変化、社会のDXの推進による新聞、チラシ、書籍、ビジネス文書などの需要減少が見られるが、封筒もこうした環境変化の影響を受けている。社会生活や企業活動の中でペーパーレス化が加速しており、紙や封筒の需要が徐々に減少している。働き方改革関連法の施行に伴う物流の2024年問題も生じている。今年6月19日には、ヤマトホールディングスがメール便の配達を日本郵便に全面委託するとの発表もあった。今秋からスタートするインボイス制度も今後の需要に大きな影響を及ぼすと思われる。封筒業界は物流、マーケティング、環境の諸問題に対応して新たな需要を創出しなければならぬ。この後、講演会で話される持続可能な社会に向けた紙製品の開発も大きな課題である。同席の皆様と共に今後の市場動向を見据えた製造方法の開発や環境に優しい素材の使用など、新たな封筒の付加価値を提供していきたい。今後とも封筒業者と関連業者との連携を構築できるフォーラム



日本封筒フォーラムの実行委員

「のち輝く未来社会のデザイン」をテーマに、未来社会の実験場としてプロジェクトを進めている。話

次に、日本郵便・切手・葉書室・光山實担当部長が年賀はがきの需要動向について「年賀ハガキの発行枚数は2004年の約44億枚から2022年は17億枚へと減少傾向にある。1人当たりの枚数は平均約30枚で、こちらも年々減少傾向にある。年賀状は日本ならではの伝統文化であり、受け取った相手には特別感がある。最近ではLINEなど、SNSで年賀をやり取りする人が増えつつある。この傾向は30代と40代では大きく傾向が変わる。40代より上の年代は年賀はがきが主流。30代は基本的にはSNSが中心。小学生や中学生は年賀状は出すが、高校生になると出さなくなる。何故かというところスマートフォンでの保有率がほぼ100%になるから、SNS環境ができる

「のち輝く未来社会のデザイン」をテーマに、未来社会の実験場としてプロジェクトを進めている。話

「のち輝く未来社会のデザイン」をテーマに、未来社会の実験場としてプロジェクトを進めている。話

「のち輝く未来社会のデザイン」をテーマに、未来社会の実験場としてプロジェクトを進めている。話

Greenbell advertisement for '匠の技' (Craftsmanship) featuring a brush and '折れない・割れない・サビない' (Doesn't break, doesn't crack, doesn't rust) features.

Advertisement for '12月5日は「アルバムの日」' (December 5th is Album Day) with a photo of a person and text about digital cameras and smartphones.

HAGURUMA

